

三河国府跡確認調査(第5次)の概要

1. 調査の経緯

今回調査を行った白鳥遺跡は、三河国分寺跡の西南西約500mの白鳥台地上に広がる総面積約25haの遺跡であり、従来から三河国府跡の推定地とされてきました。この地名「白鳥」は『続日本紀』に記載されているように、白鳥を朝廷へ献上したことに由来するといわれ、西側には国府(こう)と呼ばれる地名も残っています。

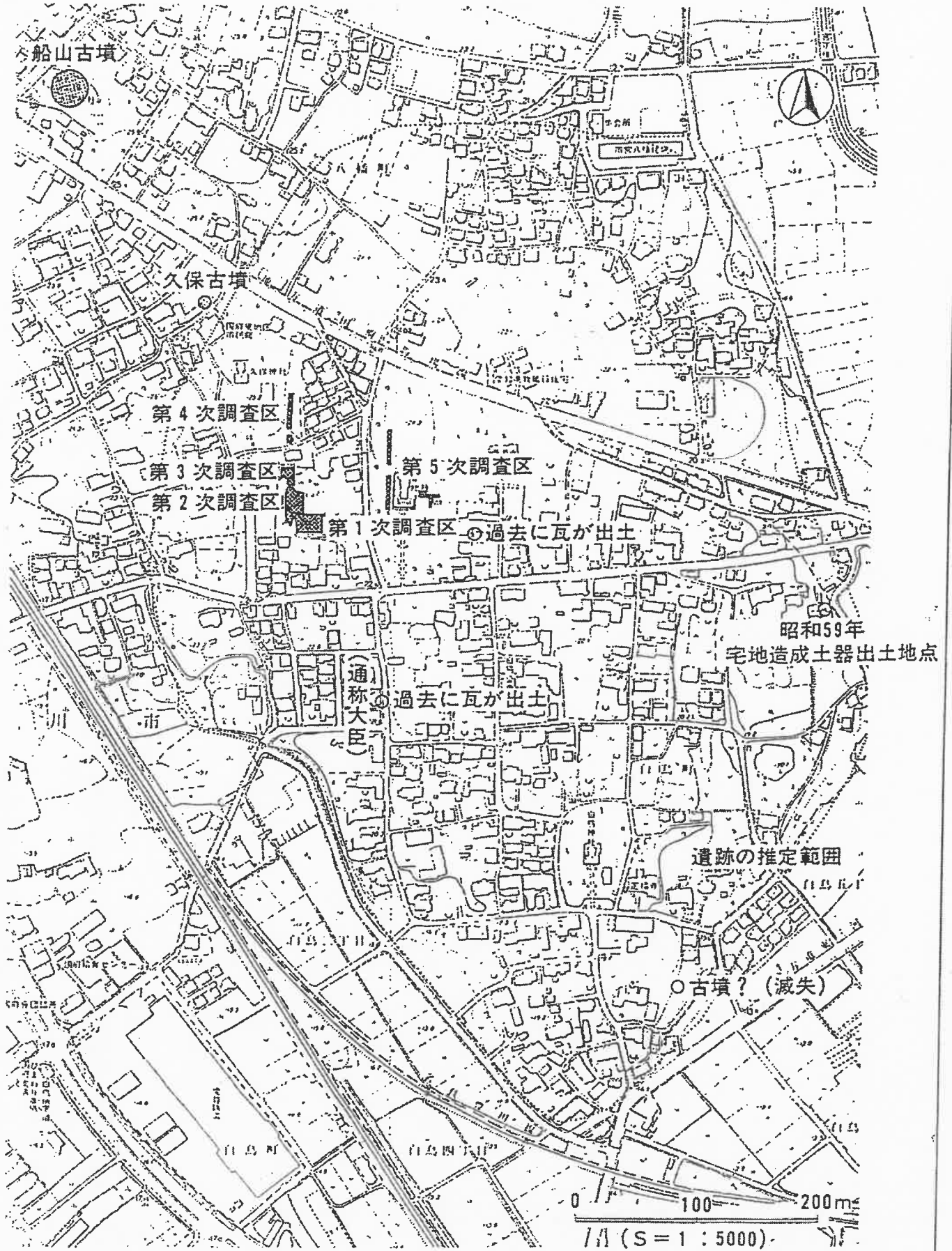
この白鳥遺跡一帯は、上郷中、下郷中の字名に示されるように昔からの集落が広がり、社寺が点在しています。現在までのところ台地東側や総社の南側、白鳥神社の北側などにはまとまった畑地がありますが、名鉄本線国府駅に近く、交通の便の良いことから宅地化が徐々に進行しているため遺跡の保護についての対策を早急に講ずることが課題とされました。

そこで豊川市教育委員会では、三河国府跡確認調査委員会を組織し、平成3年度から発掘調査を行っています。

これに基づいて第1・2次調査は総社西側の豊川市土地開発公社所有の旧畑地で実施しました。平成5年度は2か所の地点を調査対象地として行い、第3次調査は第2次調査北側の民地、第4次調査は久保神社境内地において、それぞれ実施しました。

第5次調査を迎える平成6年度は、過去の調査成果と瓦の散布状況などから重要遺構の存在が推定される総社境内地を調査候補地にあげ、地元関係者の方と交渉を行ってきました。その結果、承諾を得ることができましたので、ここに調査区を設定して、調査にあたることになりました。





白鳥遺跡（三河国府推定地）全体図

2. 第5次調査の概要

今回の確認調査は、今までの1～4次調査（総社西地区）から離れた総社境内地に計4本のトレンチ調査区を設定して、調査を行いました。このことから、重要遺構確認への指標となるべきデータが事前になく、いわば手探りの状況で行った確認調査といえます。それにもかかわらず、意外にも多くの成果をあげることができたことは評価できます。

まず、第一の成果としては、大溝（堀）SD002の検出があげられます。この溝は総延長68.5m、幅約3mの規模の大きなものであり、深さも最も深いところで約1.1mもあります。特徴としては、ほぼ真北を意識して造られている点があげられ、これは2・3次調査で確認された柱穴列とも並行しています。

この溝の性格については、溝が南端でとまっていることなどを考え合わせれば、排水用の施設としての機能は持っておらず、あくまでも区画用に限定して掘られた溝であることが判っています。

では、区画用とすれば、区画されたものが何かということになりますが、現時点で建物その他の諸施設の検出には至っていないことから、よく判っていません。ただし、この溝の規模等から推察する限り、国府の一般的な施設を区画するものとは考えがたく、可能性としては、次の三つほどが考えられます。まず一つめは、国府そのものを区画する溝の可能性です。しかし、これを仮定した場合は、検出されている地点が国府のほぼ中央付近であるため、可能性としては非常に低そうです。つぎに、国司館を区画する溝が考えられます。この場合、総社付近で採集される瓦類は国司館に使用されたもので、政庁を含めた中枢施設は別の地点に存在することになります。最後に、国府の中枢施設を区画する溝の可能性が考えられます。この場合は総社境内地を含めた総社地区が政庁であると考えられます。

後二者が考え得る可能性としては高いと思われませんが、まったく違う可能性として、国府以外の例えば律令時代の寺院跡の可能性がまったくないわけではありません。以上現時点では「可能性が考えられる」という程度で、推測の域をでません。

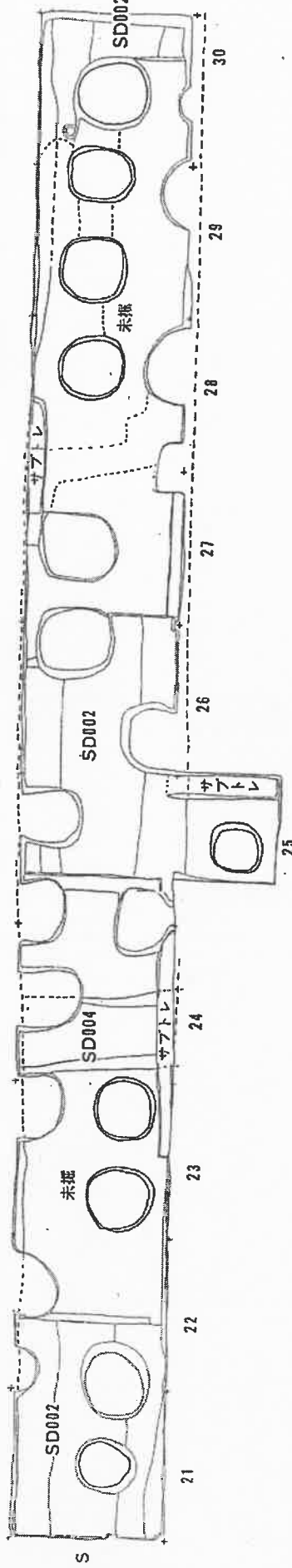
第二の成果としては、建物に関連しそうな遺構が検出された点です。まず、SX002については、ほかから持ってきたと思われる人為的な堆積土

が確認され、建物の基礎工事の痕跡ともとれるような状況でした。これが仮に建物跡の南端部分とすれば、Cトレンチの北側には規模の大きな建物が存在したことになります。

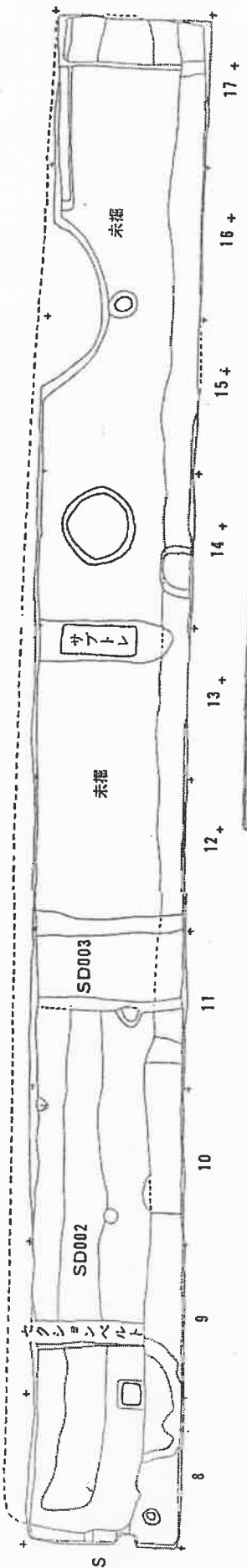
また、S.X003 については、地山を削りだした落ち込みの内部から、大量の瓦類、土器片が出土しています。これだけ瓦が大量に出土したからには、付近に瓦葺建物が存在したことは、まず間違いないものと思われれます。

以上の成果を考え合わせれば、今回の調査が限りなく中枢施設に近い部分にあたっていることが濃厚になり、今後、この確認調査を進めていくうえで大きな指標になったことは間違いありません。

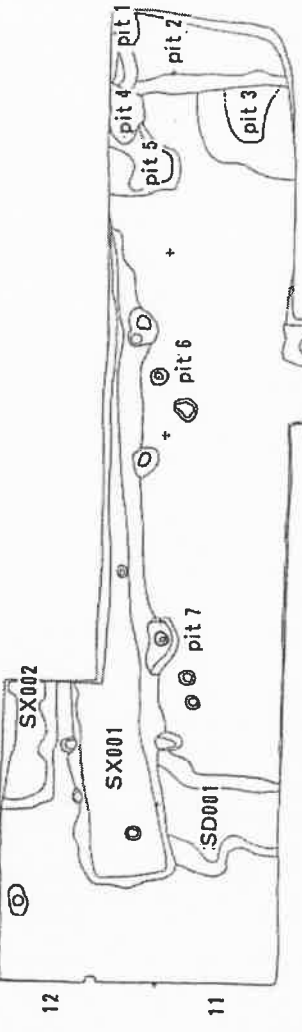
Aトレンチ No. 3



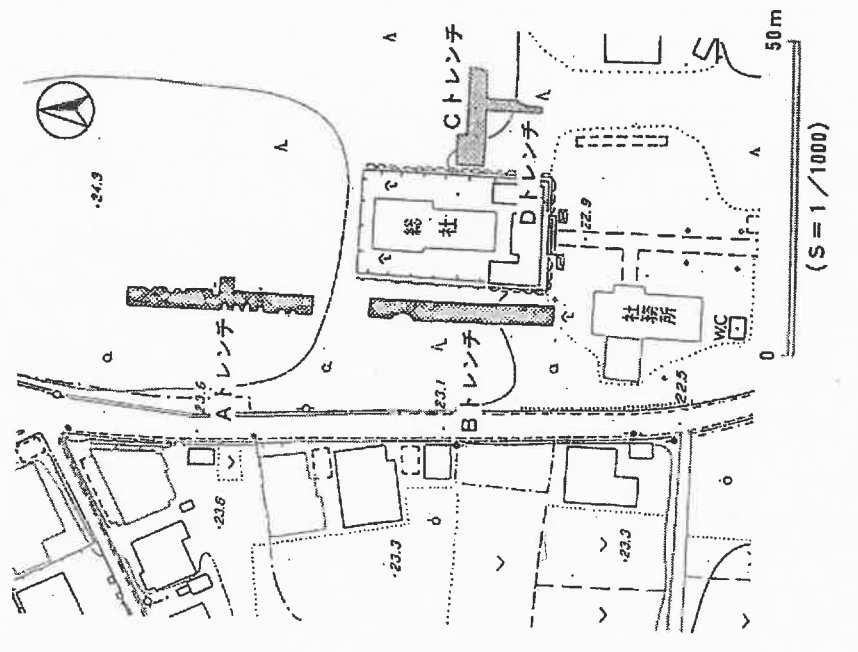
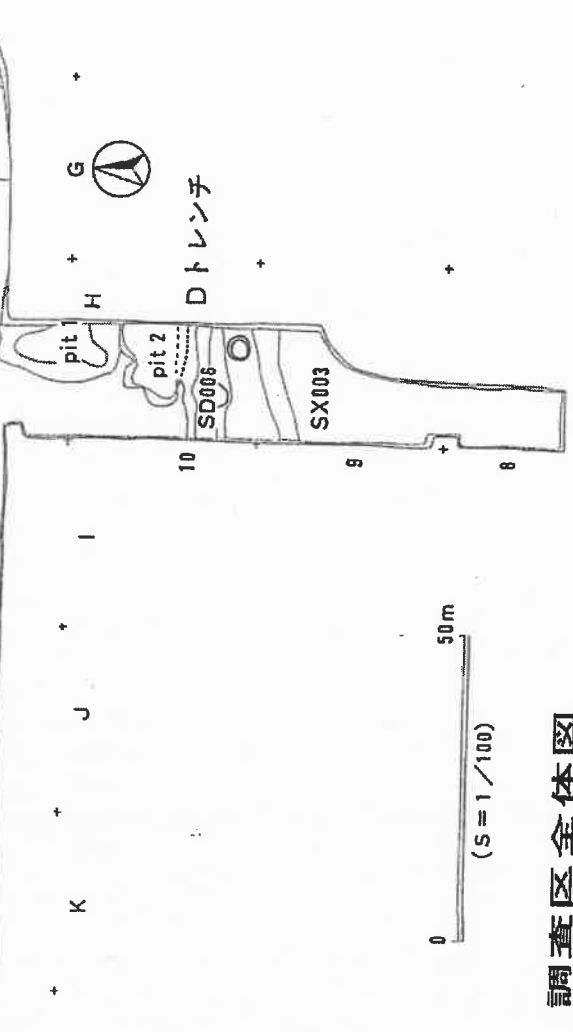
Bトレンチ



Cトレンチ

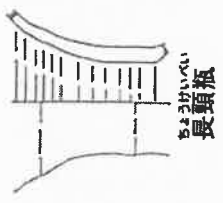
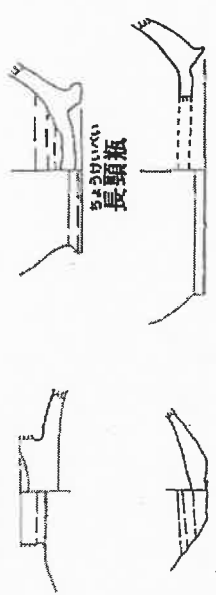


Dトレンチ

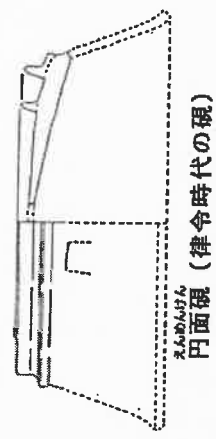


調査区全体図

AT SD002下層



AT 包含層

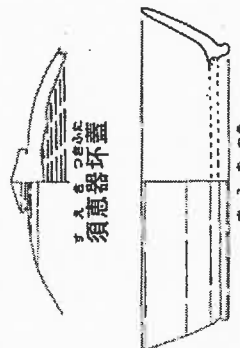


AT SD002



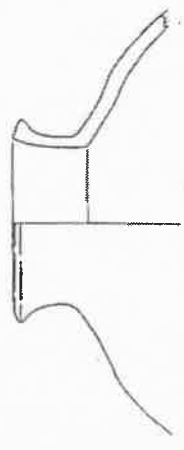
軒丸瓦 (素弁八葉蓮華文)

BT SD002中層



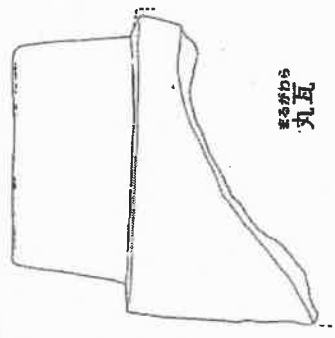
須惠器坏蓋

須惠器坏

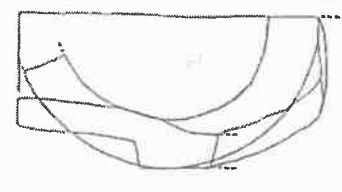


須惠器蓋

BT SD002 上層



軒丸瓦



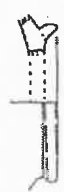
BT SD002下層



須惠器坏蓋

須惠器坏蓋

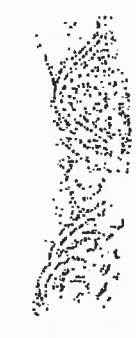
須惠器坏蓋



BT SD002 下層



軒丸瓦 (素弁八葉蓮華文)



軒平瓦 (偏同唐草文軒平瓦)

SD003



軒丸瓦 (素弁八葉蓮華文)

